

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	3100 企画事務費	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
			(JRへの要望)		一般	2	1	7	☒ 主な事業
基本施策		22	公共交通網の整備	根拠法令	千葉県JR複線化等促進期成同盟規約				☐ 国土強靱化地域計画
施策の展開		41	公共交通の確保	戦略事業	199	JRへの要望			☐ 新市建設計画
施策の展開				戦略事業					☐ 定住自立圏構想
									☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 元 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	JR東日本に対して、輸送力強化や施設改修等の利便性の向上について要望を行う。「千葉県JR複線化等促進期成同盟(以下、「期成同盟」という。)」に参加し、千葉県及び県下JR線沿線(関連)市町村と連携しながら、複線化等整備促進並びに利便性向上のための運動、資料集及び情報交換等の事業を行う。 ●8月 期成同盟を通じてJR東日本千葉支社へ要望書の提出(終電時刻の繰り下げ、千潟駅、飯岡駅の跨線橋への屋根の設置) ●11月 担当課長会議への出席(鉄道利用者増に向けた沿線活性化策及び情報共有)
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
鉄道の有する定時性や安定性、安全性等の特性に対しては、市民などから大きな期待が寄せられており、必要不可欠な交通基盤として認識されている。	利用者の減少に伴い、要望が実現されることが難しいため、利用者増を目指している。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
特になし。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位:千円
1.負担金補助及び交付金	6.期成同盟市町村負担金	
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

事業費	費目内訳	単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
事業費	1.負担金補助及び交付金	千円	6	0	6	6	6
		千円					
		千円					
		千円					
		千円					
財源	事業費計(A)	千円	6	0	6	6	6
	1.国庫支出金	千円					
	2.都道府県支出金	千円					
	3.地方債	千円					
	4.その他	千円					
	5.一般財源	千円	6	0	6	6	6

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数	常時	1人	最大		人	×		日	=	延べ	0人
-------	----	----	----	--	---	---	--	---	---	----	----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動)								
	JR東日本千葉支社への要望活動及び情報交換		ア 期成同盟の実施する会議等への参加	回	7	6	6	5	6
			イ 要望数	件	4	4	4	3	3

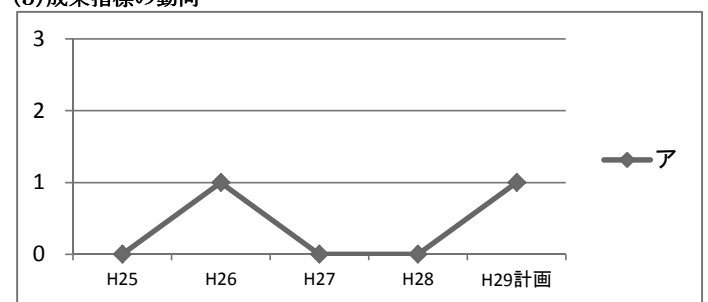
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象: 市民 意図: 移動手段の利便性の向上が図られ、生活の質が向上する。 対象意図:								
			ア 要望達成数	件	0	1	0	0	1
			イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい			
	普通			
	小さい			⑨

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧	(7)		
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較 成果動向
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					ア 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29計画 0 1 Δ1 0 1
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	
	H29.11月	例年11月に開催している担当課長会議で、本年度は各路線の要望事項をテーマに議論を行い、要望実現の可能性を模索する。		下半期	要望が実現するよう、その要望に見合った事業の実施を検討する。(例: イベントの開催)	